

# 2017・2018年度 後援会事業

2018年6月17日(日)、ホテル名古屋ガーデンパレス「鼓の間」にて、第30回定例総会が開催されました。

神野重行後援会会長のあいさつの後、2017年度事業報告と2018年度事業計画の提案が行われ、満場一致で決議されました。

また懇親会では、参加した後援会会員の方々が交流を深めました。

## 2017年度事業報告 (2017.4.1~2018.3.31)

### 1 学生の諸活動への援助について

#### 学生活動支援助成

助成総額 **14,837,709円**

- サークル強化育成事業
- 課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励事業
- イベント育成事業
- 施設・設備の充実や高額な備品の購入援助
- 海外研修・調査奨励金事業
- 語学検定料補助
- イングリッシュ・ラウンジ、グローバルラウンジ設置資料
- 名古屋ボストン美術館学校法人賛助会費

#### 就職指導助成

助成総額 **1,966,264円**

- 就職支援資料
- 資料費

#### 通信教育部助成

助成総額 **700,000円**

- 地域学習会運営援助
- 障害学生奨励金
- 障害学生提供用テキストデータ作成

#### 奨学助成

助成総額 **2,000,000円**

- 大学が行う経済援助給付奨学金や緊急貸与奨学金などの原資の一部として助成

#### 学生支援助成

助成総額 **0円**

※例年、公募制で申請を受け付けているが、2017年度は申請0件。

#### 学生への教育活動における支援を目的とした特別支援事業

助成総額 **1,899,150円**

#### 学生のUターン就職支援を目的とした地域就職支援事業

助成総額 **500,000円**

### 2 文化的諸事業の実施について

#### 文化講演会の開催

後援会第29回定例総会にあわせて、落語家・上方落語協会理事・日本手話落語協会会長の桂福園治氏を迎えて、文化講演会・落語公演を開催しました。

#### 地域文化講演会の開催

日本福祉大学セミナーの一環として地域文化講演会を全国7会場で開催しました。

### 3 会員と大学との交流について

#### 父母懇談会の開催

大学及び大学同窓会の共催を得て、日本福祉大学セミナー(保護者懇談会)を全国11地域(名古屋(2回)・半田・大阪・静岡・岐阜・松本・富山・高松・東海・美浜(2回)・前橋)で計13回実施しました。

#### 後援会会報「エスパシオ」の発行

会報「エスパシオ」第29号ならびに大学教育を理解するための別冊版を発行しました。別冊版については通学課程新入学生保護者に配布しました。



#### 法人会員拡充に向けた呼びかけ等の実施

#### 学生活動支援助成事業贈呈式の開催

学生活動支援助成事業贈呈式を12月9日(土)に開催しました。

#### 大学近況報告の公開

後援会ホームページ上で、大学セミナーで実施する近況報告を公開しました。

#### 地域担当役員への委嘱

大学が設置するブロックセンターを中心に地域担当役員への委嘱を継続して行いました。

### 4 入学記念品の贈呈について

2017年度の通学課程新入学生に、学園創立者の理解を深める入学記念品(書籍)を贈呈しました。



## 2018年度事業計画 (2018.4.1~2019.3.31)

### 1 学生の諸活動への援助について

時代の要請に応え、学生の興味・関心に沿う大学及び学生自らの諸事業・活動に対して、さらに充実・発展するよう効果的・重点的助成を行います。また、学生活動支援に対するさまざまなニーズに臨機応変に対応していくため、予算枠の流用を柔軟化していきます。

#### 学生への助成事業

- 学生活動支援助成 (P14~18で紹介)
- 奨学助成
- 就職指導助成 (P23~28で紹介)
- 学生支援助成
- 通信教育部助成 (P13で紹介)

- 年度途中で大学が計画した学生支援事業に対する弾力的な援助を目的に、特別支援事業費を後援会経費として賄います。
- 学生のUターン就職に向けた支援を目的に地域就職支援事業費を後援会経費として賄います。

### 2 文化的諸事業の実施について

- 後援会第30回定例総会にあわせて、慶應義塾大学総合政策学部准教授の中室敦子氏を迎え、文化講演会を開催します。(P33~34で紹介)
- 日本福祉大学セミナーの一環として、名古屋を除く15会場のうち地域文化講演会を全国9会場で開催します。(P33~34で紹介)

### 3 会員と大学との交流について

- 大学及び大学同窓会の共催を得て、日本福祉大学セミナーを全国13の地域(名古屋・浜松・半田・岡山・東京(2回)・福井・東海(2回)・大阪・福岡・四日市・美浜(2回)・松山・長野)で開催します。(P33~34で紹介)
- 法人会員を対象とした講演会等を開催し、あわせて法人会員拡充に向けた事業、および満足度を高める事業を検討します。
- 会報「エスパシオ」第30号ならびに大学教育を理解するための別冊版を発行します。別冊版は通学課程新入学生保護者にのみ配布します。
- 学生活動支援助成事業贈呈式を12月8日(土)に開催します。(P17で紹介)
- 後援会ホームページ上で、大学セミナーで実施する近況報告の公開を継続します。
- 大学が設置するブロックセンターを中心に地域担当役員への委嘱を継続して行い、大学セミナーと合わせて地域役員会を開催します。

### 4 入学記念品の贈呈について

2018年度の通学課程新入学生に、学園創立者の理解を深める入学記念品(書籍)を贈呈します。

## 2017年度決算・2018年度予算

収入の部(単位:円)

項目	2017年度決算額	2018年度予算額
会費	76,457,500	80,637,500
雑収入	1,005	1,000
前年度繰越金	66,104,224	-
合計	142,562,729	80,638,500

支出の部(単位:円)

項目	2017年度決算額	2018年度予算額
1.運営費	2,456,559	3,275,000
1)役員会費	538,158	1,000,000
2)人件費	1,645,920	1,800,000
3)印刷費	156,276	300,000
4)事務費	116,205	150,000
5)予備費	0	25,000
2.事業費	20,366,512	34,613,500
1)総会開催費	2,789,257	3,700,000
2)文化事業費	3,961,750	4,500,000
3)会報費	5,903,490	7,000,000
4)出版物郵送費	466,913	1,000,000
5)地域講演会費	3,434,972	7,000,000
6)入学記念品費	1,159,358	3,500,000
7)法人向け事業費	91,566	560,000
8)調査資料費	0	13,500
9)ホームページ制作費	160,056	340,000
10)特別支援事業費	1,899,150	5,000,000
11)地域就職支援事業費	500,000	2,000,000
3.助成事業費	19,503,973	22,700,000
1)学生活動支援助成費	14,837,709	15,000,000
2)就職指導助成費	1,966,264	2,000,000
3)通信教育部助成費	700,000	700,000
4)奨学助成費	2,000,000	2,000,000
5)学生支援助成費	0	3,000,000
4.大学記念事業資金積立	18,000,000	20,000,000
5.予備費	0	50,000
合計	60,327,044	80,638,500

## 2018年度役員 (2018年6月17日現在)

会長	安川 彰吉	愛知製鋼株式会社 相談役
副会長	柴田 浩	名古屋鉄道株式会社 代表取締役副社長
	上用 敏弘	中部国際空港株式会社 顧問
幹事	杉浦 直美	父母
	亀井 勝彦	父母
	松田 展充	父母
	川口 眞吾	父母
	千田 眞一	父母
	前田 健次	父母
	成瀬 智	父母
	神谷 政男	父母
	福山 浩二	父母
	武井 弘幸	父母
	蟹江 学	父母
	内木 勝也	父母
	秋風 昌治	父母
	酒井 啓二	父母
	中瀬 康弘	父母
	尾崎 秀穂	父母
	小野 隆行	父母
江口 秀司	父母	
荒川 正博	父母	
中川 昌一	父母	
岩田 明久	父母	
神谷 敏彦	父母	
杉浦 睦彦	父母	
松尾 裕樹	父母	
松原 桂	父母	
及川 貴一郎	父母	
井村 平八	父母	
岡田 義和	父母	
福田 秀志	日本福祉大学教職員	
山本 和子	日本福祉大学教職員	
神谷 真人	日本福祉大学教職員	
監査	竹内 康雄	父母
	血井 常之	父母
相談役	鴻池 一季	株式会社鴻池組名譽会長